

KIEX なび



Event Report

- ① ホームビジット体験
- ② 鹿児島で働くためにすること！
- ③ 財団設立 10 周年記念インターナショナルカレッジ
- ④ 国際理解講座 “シアトルの言葉”
- ⑤ 留学キャラバン隊 in 鹿児島
- ⑥ 災害時の外国人支援

Column

●アジアン・鹿児島 2024
～第 17 回かごしまアジア青少年芸術祭～

- 登録団体紹介
- 賛助団体会員紹介
- 講座・イベントカレンダー

登録団体紹介

鹿児島市国際交流センターの登録団体を紹介します！

台湾文化交流会in鹿児島

台湾文化交流会in鹿児島は、鹿児島住民との交流の場を通じて、台湾の文化・歴史・言葉を知ってもらい、国際交流をする団体です。



台湾茶講座
台湾茶の歴史とお茶の淹れ方を紹介しています。台湾のお菓子とともにお茶を飲みながら参加者におしゃべりを楽しんでもらう、いつも人気の講座です。

最新情報いち早く
お知らせ！



Instagram



LINE

皆さんに一言

台湾文化交流会を通して台湾人が知らない鹿児島の事、私たちが鹿児島の人を知ってほしい台湾の事など一緒に学んでいけたらと思います。よろしくお願いします。

連絡先	〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目17-2 TEL:080-5275-4400 Email:tw.culture.k@gmail.com URL:台湾文化交流会 in 鹿児島でご検索
-----	---

鹿児島県日中友好協会女性委員会

鹿児島県日中友好協会女性委員会は鹿児島に在留する中国の方々と、お互いの文化や習慣を知る芸能文化交流会や両国青少年学校交流、ホームステイ受入れ、中国ゆかりの地 清掃など、様々な活動を行っております



2023.9.24
「日中友好 中秋節2023
～二胡の調べ～」開催

鹿児島の高校生や在留中国人と共に、二胡の演奏にあわせて中国語の歌を合唱。その他、中国、中秋節の説明や日本、中秋の名月の説明なども行い、交流しました。



2023.5.14
「日中友好交流の集い」開催

鹿児島の高校生と中国人留学生とのディスカッションや、中国の漢服と日本の着物のファッションショーや二胡演奏や歌を披露し、フィナーレでは「鹿児島おはら節」を全員で踊り、交流を深めました。

皆さんに一言

鹿児島と中国の友好を願い、皆さんと交流の輪を深めましょう

連絡先	〒890-0053 鹿児島市中央町36-5 TEL:099-296-8778 FAX099-254-1438 Email:kagoshimabunka@gmail.com
-----	---

(公財) 鹿児島市国際交流財団 賛助団体会員紹介

株式会社しんぶく

株式会社しんぶくは、昭和33年に創業以来、ノートや鉛筆、消しゴムなどの小さな商品に対し、全社員が愛着を持って接してきました。そんな小さな一つ一つの積み重ねが大きな仕事へ発展していきます。お客様とのより深い信頼関係、繋がりを大切にしています。

現在では、文具事務用品からOA機器、ｽｰﾊﾞﾙ家具まで、事務所で使うものすべてをトータルで提案し、事務所のｺｽﾄ削減と業務改善・効率化のお手伝いをしています。



公式HP

鹿児島ロータリークラブ

ロータリーは、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、国際交流、親善、平和を推進することを目的としています。

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。当クラブが実施した主な活動として、鹿児島ロータリークラブ青少年功績賞、世界社会奉仕(小さなハートプロジェクト)、水資源支援プロジェクト、青少年団体への助成金贈呈、思いやり介護教室、エイズ予防講演会、特別支援教育講演会、児童養護施設等の子どもたちのバスツアー、鹿児島ロータリークラブ奨学金支給、海外の青少年交換・交流、米山記念奨学生(外国人留学生)への奨学金支給などがあります。



鹿児島RC
公式HP

鹿児島国際大学

国際的視野でものを考え、
地域社会に貢献できる人材の育成

海外留学や語学教育プログラム(海外インターンシップ、海外語学研修等)、国際交流イベントや留学生との交流をとおして多様な価値観を寛容に受け入れられ、異なる文化や環境においても円滑なコミュニケーションを図ることができるグローバル人材を育成しています。



鹿児島国際大学
公式HP

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団



鹿児島市国際交流財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島島の発展に寄与することを目的としています。

〒892-0846 鹿児島市加治屋町 19 番 18 号 TEL (099) 226-5931
FAX (099) 239-9258 E-mail:kokusai@kiex.jp HP:https://www.kiex.jp
【開館時間】 9:00~21:00 (日曜日及び祝日は 9:00~17:00)
【休館日】 月曜日 (祝日と重なる場合はその翌日)・年末年始 (12月29日~1月3日)



国際交流の 推進

市民と外国人住民の
親善・交流を深めよう！

国際理解の 推進

市民と外国人住民に
お互いのことをもっと
知ってもらおう！

国際協力の 推進

市民による国際協力・
貢献活動を
支援します！

多文化共生の 地域づくりの推進

市民と外国人住民が
共に生きていく地域
づくりを支援します！



11~12月 韓国語講座 初中級

- 内容** 韓国人講師による中級に進む前のレベルの講座。色々な文型を勉強し、会話の練習まで行います。韓国をより理解できるミニ文化講座もお楽しみに！
- 対象** 文字（ハングル）の読み書きが自由にでき、韓国語で簡単な自己紹介ができる方
- 日時** 11月12日～12月24日 毎週火曜 18:30～20:00（全7回）
- 参加費** 2,000円
- 定員** 16名（超えたら抽選）
- 申込期限** 11月1日（金）必着



11~1月 中国文化・語学講座（入門～初級）

- 内容** 中国人講師による中国文化紹介や入門～初級レベルの単語・文法の学習、会話練習など
- 対象** 市内に住むか、通勤通学している人
- 日時** 11月15日～1月17日 ※12/27、1/3 休講 毎週金曜 18:30～20:00（全8回）
- 参加費** 2,000円
- 定員** 20名（超えたら抽選）
- 申込期限** 11月5日（火）必着



12~1月 国際協力講演会 広報ボランティア募集

- 内容** 3月16日開催予定の国際協力講演会に向けて広報ボランティアを募集します。本番の国際協力講演会では、国境なき医師団日本会長の中嶋 優子氏をお迎えします。開催に向けて国境なき医師団について学ぶ講座や講師へのインタビュー等で広報記事を作成しSNSにて広報のお手伝いをいただきます。
- 対象** 市内に住むか、通学している専・短・大学生
- 日時** ①12月14日（土）10:00～11:30
②12月21日（土）10:00～11:30
③1月11日（土）10:00～11:30
④1月18日（土）10:00～11:30
- 参加費** 無料 **定員** 10名
- 申込期限** 11月29日（金）（超えたら抽選）



12~2月 世界の台所

- 内容** 外国人講師による自国の料理と文化を紹介する講座
a) ドイツ b) 台湾のお正月 c) シリア
- 対象** 市内に住むか、通勤通学している中学生以上の人
- 日時** 日曜日の10:30～14:00
a)12月15日 b)1月19日 c)2月16日
- 参加費** 1,000円（学生500円）
- 定員** 各回12名（超えたら抽選）
- 申込期限** 11月27日（水）必着
- その他** aからcのうち、希望の講座を選んでご記入ください（希望順に）



12月 台湾文化体験講座 ～台湾茶を楽しむ会～

- 内容** 台湾人講師による、台湾茶の歴史やお茶の種類、淹れ方体験など
- 対象** 市内に住むか、通勤通学している人
- 日時** 12月7日（土）14:00～16:30
- 参加費** 500円
- 定員** 15名（超えたら抽選）
- 申込期限** 11月22日（金）必着



12月 ミニ門松作り（地域連携事業）

- 内容** ミニ門松作りを通して、日本文化について楽しく学ぶ講座
- 対象** 国際交流センター周辺に住む人
- 日時** 12月15日（日）10:00～12:00
- 参加費** 詳細はHPをご覧ください
- 定員** 20名程度（超えたら抽選）
- 申込期限** 12月3日（火）必着



1月 皆で遊ぼう日本の縁日！

- 内容** 日本の伝統文化縁日について、日本語と外国語を通して楽しく学び、実際に縁日を体験してみるイベントです。
- 対象** 4歳から6歳までの子どもとその保護者
- 日時** 令和7年1月12日（日）10:30～11:45
- 参加費** 無料
- 定員** 20名（超えたら抽選）
- 申込期限** 1月4日（土）必着



3月 世界の台所（外国人対象）

- 内容** 和菓子作りを通して、日本文化を学ぶ講座
- 対象** 市内に住むか、通勤通学している中学生以上の外国人住民
- 日時** 令和7年3月9日（日）10:30～14:00
- 参加費** 1,000円（学生・実習生500円）
- 定員** 12名（超えたら抽選）
- 申込期限** 2月21日（金）必着



Event Report イベントレポート

ホームビジット体験

開催日 5月26日(日)

参加者 72名(外国人22名、日本人家庭23組50名)

外国人住民が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうことやお互いの交流を深めることを目的に、「ホームビジット体験」を開催しました。

センターでの対面後、少し緊張した様子でそれぞれのホストファミリー宅に移動。早速、ちらし寿司や瓦そば、たこ焼きなどのランチ時間を各家庭で楽しめたようです♪その後は、それぞれ習い事の見学(なぎなた・日本舞踊)や、書道体験、抹茶体験など、各ホストファミリーが準備してくれた日本文化体験を通して、日本人が普段どのように生活しているのかを垣間見ることができたようです。また、参加者は自国の紹介や日本との違い、世界から日本がどのように見えているのかなど、ホストファミリーとのたくさんのお話を通してお互いの文化を知り、理解する貴重な時間となったようです。



参加者の声

- ・寮に戻ってからも、家族の一員になったような気がします。日本の家庭の実際の様子や最近の日本の子供たちが何をしているのかなど、たくさんの新しいことを学ぶことができました。
- ・ホームビジットは大成功だったと思います。私たち外国人と地元の人々を結びつけるのにとっても役立ちました。

鹿児島で働くためにすること!

開催日 6月9日(日)

参加者 2名

各専門団体の方々にご協力をいただき、「鹿児島で働くためにすること!~聞いてみよう、履歴書・面接のこと!~」を開催しました。

今回は、就職・転職・起業・履歴書・面接に関する各種相談を行い、また講座では、日本での仕事の見つけ方と日本で働くための法律・ルールについて各専門員が講話を行いました。参加者からは「日本で働くために、ビザ・資格・就職活動について多くの事を知っておかなければならないと感じた。大変ではあるが、知っていて対応することができれば、より効率的な就職活動ができると思う。」と感想をいただきました。

当財団では、鹿児島市外国人相談デスクを運営しており、日頃から鹿児島市在住の外国人の皆様気軽に相談していただけるような環境づくりをしております。お困りごとがございましたら一度お問い合わせください。



財団設立10周年記念 インターナショナルカレッジ

開催日 6月30日(日)

参加者 145名



鹿児島市に居ながらにして外国の文化を体験し、異文化を理解してもらうことを目的に、今年は鹿児島市国際交流財団設立10周年を記念し、午前は子どもたちを対象に、午後は中学生以上を対象に、拡大バージョンで開催しました!!

「“世界”のことを聞こう!知ろう!!体験しよう!!」のテーマのもと、午前は、多言語ワークショップや親子クッキングなど、午後は外国人講師等によるさまざまな文化講座や体験講座など、全7コース13講座から選択。初めて聞く話に衝撃を受けたり、試食・試飲・体験を通してそれぞれの文化をより深く知ることができたようです。

午前の部	A	英語で遊ぼう!!
	B	親子で楽しむ多言語ワークショップ
	C	親子クッキング
午後の部	D	①アメリカ大統領選挙 ④南米文化講座 ⑦イスラム文化講座
	E	②IQを超えて 知能のスペクトラム ⑤シリア文化講座 ⑧カリブ・アフリカ文化講座
	F	③語学力不問!世界と繋がる緑茶の秘密 ⑥ウクライナ文化講座 ⑨ニュージーランド文化講座
	G	“台湾茶”体験講座

参加者の声

- ・説明も分かりやすく、クイズもあつたり、子どもにもできることがたくさんあつたので良かったです。
- ・それぞれの講座で今まで知らなかった文化や考え方に触れることができ、とても楽しかったです。

(写真は2023年撮影)

(KAYAF : Kagoshima Asian Youth Arts Festival)



アジア各国の青少年と鹿児島市の青少年(全10団体予定)が鹿児島市に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める「かごしまアジア青少年芸術祭」を宝山ホール・中央公園等で開催します。詳細は、財団ホームページをご覧ください。

10/19
土

① 青少年音楽祭(宝山ホール)

鹿児島を含むアジア各国の青少年団がアジアの素晴らしい音楽・伝統芸術文化等を来場者の皆様へお届けします。

10/20
日

② アジアンフェスタ(中央公園)

ステージ: 野外ステージでのストリートダンスコンテスト並びに海外団体の特別公演を実施します。
屋台: アジア各国の料理が楽しめます。
体験ブース: 日本の遊びなどを体験できます。

ワーキンググループボランティアスタッフについて

「アジアン・鹿児島」は、鹿児島市の青少年(中学生～20代)で構成する“ワーキンググループボランティアスタッフ”が企画・準備・当日運営に携わっています。7月からワーキングがスタートし、パネル作りやインスタ発信、体験ブースやステージの企画等開催に向けて準備を進めています。

おもてなし部会リーダー 桑山 昂大さんインタビュー

① WGの参加経緯

今年4月に就職で鹿児島に来ました。新天地で誰かの役に立ちたい・今後自身の選択肢を増やしたい、また海外の方々に喜んでもらえる・安心できるような場を作る貢献をしたいと思い、芸術祭WGボランティアに参加を決意しました。

② 芸術祭への意気込み

来てくださった方々に楽しかったと思ってもらえるような芸術祭を作り上げたいです。また、学生の皆さんと話し合い・議論して、自分たちで芸術祭を作り上げたという達成感や成功体験を実感できるようなWGにしていきたいと思っています!



賛助会員募集!

～市民の皆さまによって支えられています～

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。鹿児島市国際交流財団の活動に賛同してください賛助会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 参加料金の割引
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

年会費

- 個人会員(1口)1,000円
(家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員(1口)10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページからもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申込書を送付いたします。どうぞお気軽にお問合せください。

賛助団体会員のご紹介

国際交流センターホームページに賛助団体会員の皆様のバナーの一覧がありますのでぜひご覧ください。リンクも張っています。(ページ下の方です。)



国際理解講座“シアトルの言葉”

開催日 7月13日(土)

参加者 32名

鹿児島市国際交流アドバイザーでシアトル出身のレベッカさんを講師に迎え「国際理解講座“シアトルの言葉”」を開催し、32名の皆さんにご参加いただきました。

第一部では、シアトルの先住民族とその言葉(ルシュッドシード語)に焦点を当て、歴史や現在の言語としての立ち位置等を紹介していただきました。

ルシュッドシード語を母語として話す人はおらず、第二言語として使う人も500人未満のようですが、ルシュッドシード語がなくならないよう、継承・保存活動が行われているそうです。

第二部では、2017年にシアトルがユネスコ文学創造都市に指定されたことと関連して、文学好きなレベッカさんが、お薦めのシアトルの書店や母校であるワシントン大学の図書館の様子等を紹介していただきました。

また、大学時代での図書館のアルバイト経験を活かし、会場にはシアトル関連のミニ図書コーナーも設けられ、参加者の皆さんは興味深そうに手に取られていました。

参加者の皆さんからは「シアトルにとっても興味が沸いた」や「紹介された本を読んでみます」等の声が挙がり、講座を通じて自分たちの知らなかったシアトルの魅力を発見できたようです。



留学キャラバン隊in鹿児島

開催日 7月20日(土)

参加者 23名

海外大進学の実現を軸に「自分らしい進路選択」を一緒に考え、参加者の将来の可能性を広げるイベントを、NPO法人留学フェロウシップと鹿児島外語学院との共催で行いました。

アメリカ、カナダ、英国に留学している学生がそれぞれ、海外大学についてのプレゼン、海外留学生の一日、それぞれの専攻に関する照会、Q&Aや個人質問などを行う中で、最初は緊張していた中高生のみなさんも、最後には目を輝かせながら自分から積極的に話を聞きに行っていたことがとても印象的でした。

事後アンケートの回答でも「ワクワクした」「自己理解を深めることができた」「主体的に進路を選択するために行動を起こし、挑戦したい」など前向きな回答ばかりで、このイベントで自分の進路についての見方が大きく変わったようです。



災害時の外国人支援 ～能登半島地震から見てくること～

開催日 7月27日(土)

参加者 18名

大規模災害が発生した際、行政などからの日本語で発信される情報を理解出来ない外国人は、大変な目に合うことが想定されます。当財団では、そのような外国人を助けるために大規模災害時には「災害時多言語支援センター」を運営する計画です。

今回は、その支援ボランティアと外国人支援に興味を持つ方を対象に、能登半島地震の時に活躍された柴垣先生を講師に招き、災害時に外国人は何に困るのか、どのような対応をしなければならないのかについて、ご自身の経験や能登半島での出来事を例で挙げながらお話しいただきました。

講演が終わった後は、実際の外国人住民を相手に、外国人が避難所に避難したという想定で、彼らの困りごとやニーズを聞き取りするための避難所巡回訓練を行いました。ボランティアの方々は、勉強されている外国語で話をかけたり、通訳アプリを活用したりしながら聞き取りの訓練を行いました。



講師：柴垣禎氏(NPO法人多文化共有マネージャー 全国協議会理事 富山県在住)